

2月1日 出張講演会

防災食体験

会場：三輪コミュニティーセンター

参加者：10名



緑山自治会の自主防災隊のメンバーが防災食の試食を体験しました。

NPO たまりば からは、峯岸と大脇が協力しました。

皆さん、食い入るように、峯岸の説明を聞きながら、アルファ化米を水で戻したものとコーンとツナのリゾット味に調理したものを食べくらべ、違いを実感していた。

試食終了、大脇が食に関する食防災について説明をしました。

避難所経験者がいない為、伊勢湾台風でのおにぎりとお肉の大和煮缶詰の話、

食は、笑顔もたらし会話が弾み仲間を増やす力を持っていることを紹介。

期限切れになる備蓄食材を持ち寄って、試食会を広げていただくようお願いし、

我々も、お手伝いができることもお伝えしました。

1. NPO たまりば 紹介

防災関係を中心に紹介。

非常食試食体験、出向きます！

災害から命を守る 身近なものを使った防災グッズ工作

2. 紙コップの工作の実演

B4の紙を使った、カップを作り、ビニール袋をカップにかぶせその中に、リゾットを入れることで、手に熱が伝わらなく、カップを使いまわしできる。

又、貴重な飲料水を使わないメリットも紹介。



3. 三角巾

このエプロンは、6年前、上さんから調理するように言われ、決意をするため、このエプロンを発注したことを紹介。

今では、週4日、夕食の準備ができるまでに成長、感謝。

三角巾の代わりにハンカチで代用していること紹介

雨降り時の雨よけ帽子や潮干狩りでの日よけ帽子に変身することも実演しながら紹介。

4. 防災用ヘルメット

参加者は、全員、女性のため、お父さんのためのインナイヘルメットを紹介
市販の帽子の中に入れてかぶることで、自転車運転時のヘルメットや災害時のヘルメットになり工事用ヘルメットに代わることを説明。

どこで販売しているの？

いくらなの？

うれしい、反響！

5. 2月21日の 災害から命を守る工夫 講座のお誘い

日常出る資源ごみを使用し、ペットボトルでトイレ、牛乳パックと段ボールで家具固定を工作することを紹介。

又、ゲームでは、“危ないところ探そう”は、部屋の危険な場所の再発見と
“家具の向きを変える工夫”では、より命を守ることができることの発見
参加を呼び掛けました。